

平成 20 年度飼料の検査事業の実績

今雪幹也・三谷英嗣・白川 朗¹⁾

Result of inspection of Feeds with the Official Specification. (2008. 4-2009. 3)

Mikiya IMAYUKI, Hidetsugu MITANI, Akira SHIRAKAWA

はじめに

本場では、「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」に基づく飼料工場への立入検査等により、飼料の安全性の確保及び品質の改善を図っている。そこで、立入検査に伴う飼料の検査、一般栄養成分分析を実施した。また、BSE（牛海綿状脳症）発生防止対策として肉骨粉混入鑑定を実施した。

材料及び方法

立入検査は、平成 20 年 4～5 月に 2 カ所、7～8 月に 2 カ所の計 4 カ所で行った。需要量が多い配合飼料を主体に、飼料添加物の適正な使用、飼料の使用基準の遵守状況、原材料の表示の適否等の確認及び指導を実施し、1 箇所につき 1 件の飼料収去（合計 4 件）を行った。

収去飼料については一般栄養成分分析を財団法人日本穀物検定協会に検査委託し、成分分析値が表示票に適合していることを確認した。

また、BSE（牛海綿状脳症）発生防止対策として、県内の牛用配合飼料製造業者 3 社から最終製品を（合計 38 検体）収去し、肉骨粉混入鑑定検査（顕微鏡鑑定）を行った。

成 績

立入検査時に実施した台帳等の確認について、特に問題は認められなかった。収去飼料 4 件について実施した一般栄養成分結果についても、全て表示票に適合していた（表 1）。

また、肉骨粉混入鑑定検査について、肉骨粉等の混入は認められなかった（表 2）。

表 1 飼料検査実績

種 類	件 数	表示票	
		適合	不適合
配合飼料	3	3	0
魚 粉	1	1	0
合 計	4	4	0

表 2 肉骨粉等混入鑑定検査実績

種 類	件 数	混 入
乳用牛飼育用配合飼料	32	0
牛用混合飼料	3	0
牛用混合発酵飼料	3	0
合 計	38	0

¹⁾ 現 香川県畜産課